

役員所感

副理事長 松木 成徹

【基本方針】

世界中に整備されたインターネット網により情報は瞬時に世界を駆け巡り、高速交通網の整備によってヒト・モノの移動時間は大幅に短縮され、経済的にも思想的にも地方と世界は密接に結びついています。海外の出来事が間接的に我々の日常生活の身近な問題を引き起こし、逆に我々一人ひとりの行動が世界のどこかに影響を与えるほど強固に結びつき、世界が一つのコミュニティ化している半面、地域が抱える問題に対し積極的な関わりを持つとうとする機運は減少し、最も身近な地域コミュニティは衰退の一途を辿っています。

青年会議所には国内に708のLOMが存在し、国内全ての地域とのネットワークでつながっています。さらにはJCIを通じて世界中の「志を同じうするもの」とちと繋がっており、そのネットワークは青年会議所が持つ独自の長所でもあります。一方、各々のLOMは地域に対して、先輩諸兄が築きあげてきた青年会議所活動への地域からの信頼の証左とも言える強固なネットワークで結ばれています。また青年会議所が取り組む「まちづくり」の問題は多岐にわたり、一つの問題をあらゆる観点から俯瞰的に捉える事が可能です。こうした「地域のジェネラリスト」としての団体は他には存在せず、青年会議所が担うべき役割の一つであり、また期待がかかる活動でもあります。世界から地域までのネットワークを縦軸、地域における総合的・俯瞰的な視点からの活動を横軸として捉え、多くの市民と協働を促進して青年会議所活動を展開することは、世界と繋がりながらも活力あるコミュニティを生みだし、真に豊かなまち上越の創造に結び付くものだと考えます。また、こうした青年会議所活動への参画者の拡大は、縦横の糸そのものを太く・強くすることであり、明るい豊かな社会実現への第一歩だと認識し、継続的な活動を行いたいと考えます。

青年会議所は「シンク・グローバリー、アクト・ローカリー」が実践できる数少ない団体です。世界に誇る地域・上越を創造できる団体の責務として、自分たちの地域は自分たちが創る、という当事者意識のもと、【つながる力】を強く持ち、【想いをつなげる】ことで、「真に豊かなまち・上越の創造」に向かって決心覚悟の下、活動に邁進して参ります。